

授業科目 ジェンダーと人権

【担当教員名】 塚本 康子	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	
【概要・一般目標：G10】 人をジェンダーの視点で理解し、ジェンダーに関わる人権について考える。				
【学習目標・行動目標：SB0】 1. ジェンダー、セクシュアリティ、フェミニズム、人権などの概念と、それらの歴史的背景を述べることができる。 2. 家族関係におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。 3. 教育・学校生活におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。 4. 労働におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。 5. 結婚生活におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。 6. 保健・医療・福祉におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。 7. ジェンダーに関する制度や社会保障について考察する。				
回数	授業計画・学習の主題		SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ジェンダー、人権、セクシュアリティ、フェミニズム、女性学・男性学の概念		1	講義
2	家族関係におけるジェンダーと人権の問題		2	講義、演習
3	教育・学校生活におけるジェンダーと人権の問題		3	講義、演習
4	労働におけるジェンダーと人権の問題		4	講義、演習
5	結婚生活におけるジェンダーと人権の問題		5	講義、演習
6	保健、医療、福祉にみられるジェンダーと人権の問題		6	講義、演習
7	ジェンダー論と歴史的背景		7	講義
8	まとめ			
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	なし。その都度プリントを配布する。			
参考書	女性学・男性学—ジェンダー論入門 ジェンダーの法律学 初めて学ぶジェンダー論 ジェンダー・セクシュアリティ・制度	伊藤公雄 他 金城清子 伊田広行 小松満貴子	有斐閣 有斐閣 大月書店 ミネルヴァ書房	
その他の資料				
【評価方法】 出席 10 点 レポート 90 点		【履修上の留意点】 文献を読み、考え、自らの考えをまとめていこう。 新聞や記事を読む習慣を身につけよう。		